

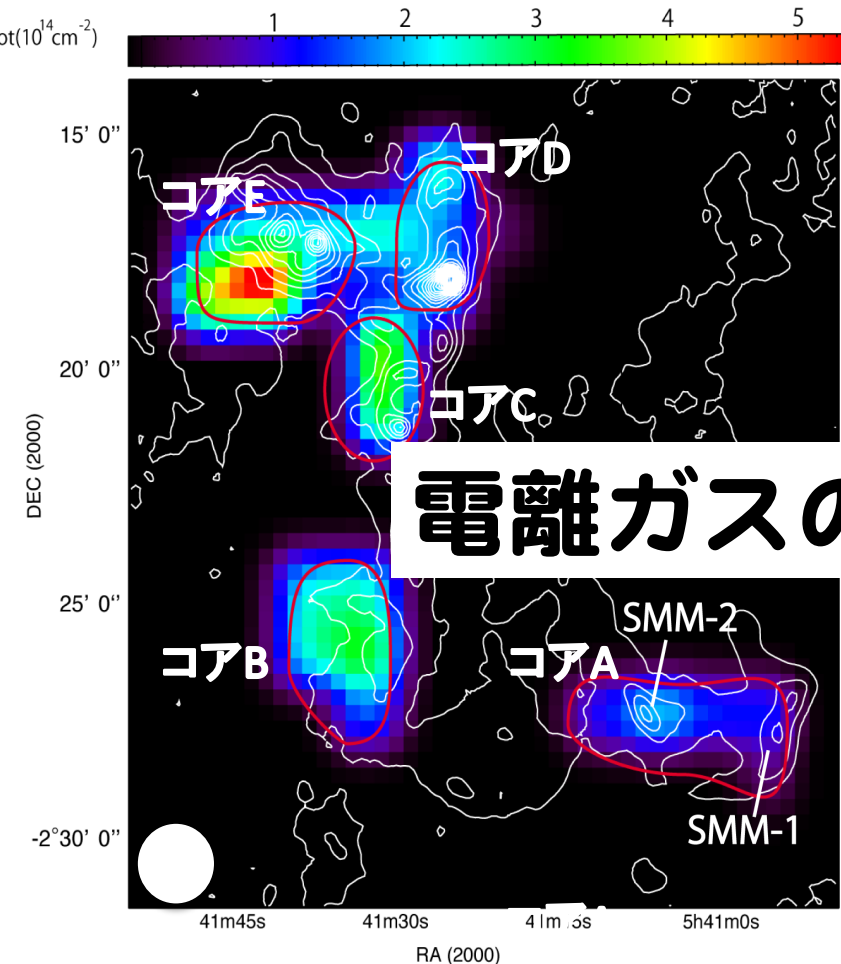
NH₃分子輝線を用いた馬 頭星雲の マッピング観測

大橋聡史 (うま年)

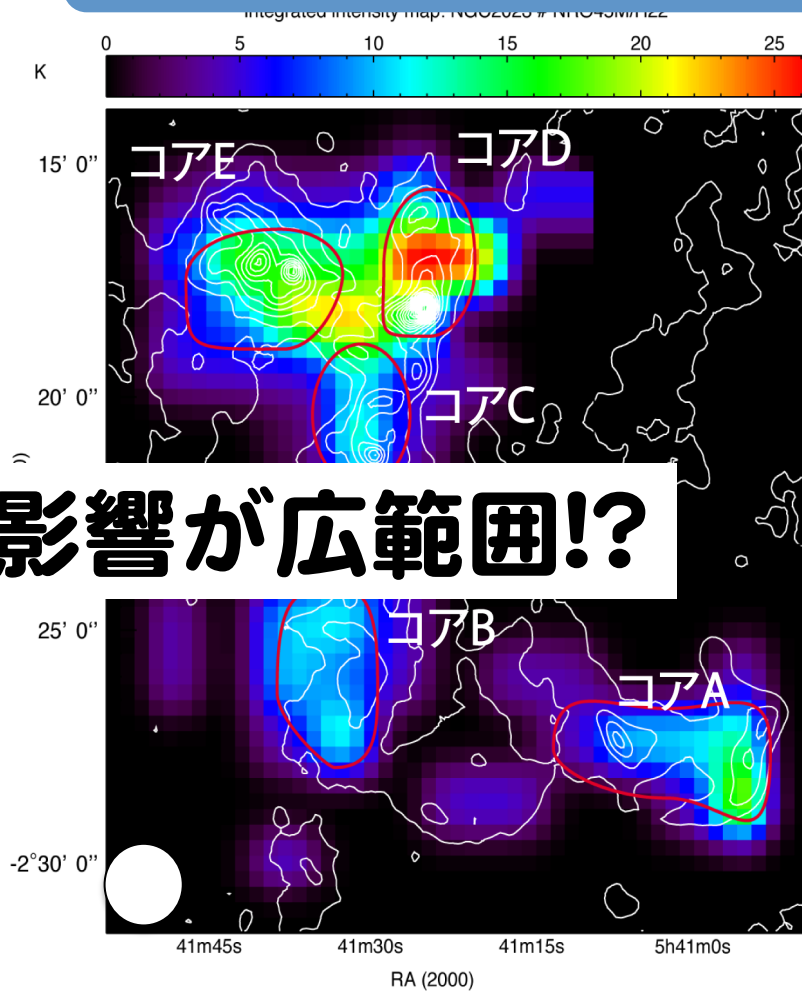
東京大学 天文学専攻 修士1年

議論

柱密度カラーマップ



温度カラーマップ



電離ガスの影響が広範囲!?

それぞれの分子雲コアで柱密度のピーク周辺で温度が高い!!

結論

- **馬頭星雲、NGC2023領域で5つのコアを同定**
- **コアAは先行研究と同様にIC434による加熱が見られた**
- **コアBは電離ガスによって収縮がトリガーされた分子雲コアの可能性あり**
- **コアC,D,EはIC434に加えて原始星や反射星雲からの外的な影響が大きい**
- **電離ガスが広範囲である可能性あり**